

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 元 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	自転車置場管理事業					②事業番号	3216
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	要綱	計画等	○ その他	法令等の名称
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	7	項	2	目	2	細目 2
⑨担当部名	⑩担当課名			会計 一般会計			
市民生活環境部	環境整備課						

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 駐輪場利用者・自転車	① 年間利用台数	千台
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
・シルバー人材センターへ自転車置場監視業務委託により市内4駅の通勤、通学等(土・日・祝を除く午前7時～9時)の自転車等利用者に対し道路路上に放置しないよう指導と、自転車置場場内の整理整頓を行っている。放置自転車については職員がパトロールし対応している。	① 委託日数	日
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
・駐輪場を整理整頓することにより、多くの自転車を駐輪することが出来ることにより駅前の無秩序な放置自転車を減らし、交通利便や景観の形成に役立てる。	① 駅前放置自転車の台数	台
	②	
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
・駐輪場周辺への迷惑駐輪の防止と利用しやすい駐輪場の運営により、多彩で魅力的な景観まちづくりをおこなう。	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします
	施策中	7 景観の形成
	施策小	1 景観行政団体への移行

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	
対象指標①	年間利用台数	千台	523	485	442	500	500	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	委託日数	日	242	241	237	246	246	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	駅前放置自転車の台数	台	199	121	223	200	—	
成果指標②								事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.15	0.15	0.15	0.50		
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	1,205	1,225	1,205	3,856		—
	直接事業費	千円	9,393	9,217	9,147	9,235		
	総事業費	千円	5,118	10,442	10,352	13,091		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		—
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	5,118	10,442	10,352	13,091		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	駅前駐輪場の一部利用者のモラル低下により自転車が無造作に駐輪され無駄なスペースが空き、駐輪台数が減ってしまうためシルバーに指導してもらいより多くの自転車を停められるようにと始まった。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	この事業を継続していることで駅前の放置自転車も減少傾向ではある。今後もし引き続き事業を展開していくことにより駅前の景観も維持できると考えられる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する アイ. ある程度 ウ. しない	多彩で魅力的な景観まちづくりをおこなえる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい アイ. ある程度 ウ. いいえ	民間の有料駐輪場もあるが、市の駐輪場は現在無料で市民に提供しているのに放置自転車はいっこうに減らない。行政が関与せざるをおえない。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	時間は朝の通勤時間だけと最小限で行っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある アイ. ある程度 ウ. ない	廃止すると駅前の放置自転車は確実に増えると思われる。そうすると駅前は自転車であふれかえり歩行者や車両の通行の妨げになり市民生活への影響は大。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どりの成果が得られていますか。	ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	駐輪スペースが出来ることにより駅前の放置自転車は抑えられ景観の形成に役立っている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	もっと、駐輪場を増やせば放置自転車は減らせるが、土地の賃貸料の問題や場所を増やせば人員の配置増で歳出費がかさむ。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	シルバーに大阪府の最低賃金で契約している。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	駐輪場を有料にすれば歳入の確保は出来る。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	もっと、駐輪場を増やせば放置自転車は減らせるが、土地の賃貸料の問題や場所を増やせば人員の配置増で歳出費がかさむ。今現在、最小限の委託に抑えている。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	<今後の展開方針> - 重点化する(集中的なコスト投入) - 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) - 効率化する(コストを下げる) - 簡素化する(規模を縮小する) - 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など		R2度より市内4駅の駐輪場の有料化を検討。			
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		現在、土地賃借をしている駐輪場をどうするかが課題。			